

2025年度 活動報告・2026年度 活動計画

医用画像システム部会

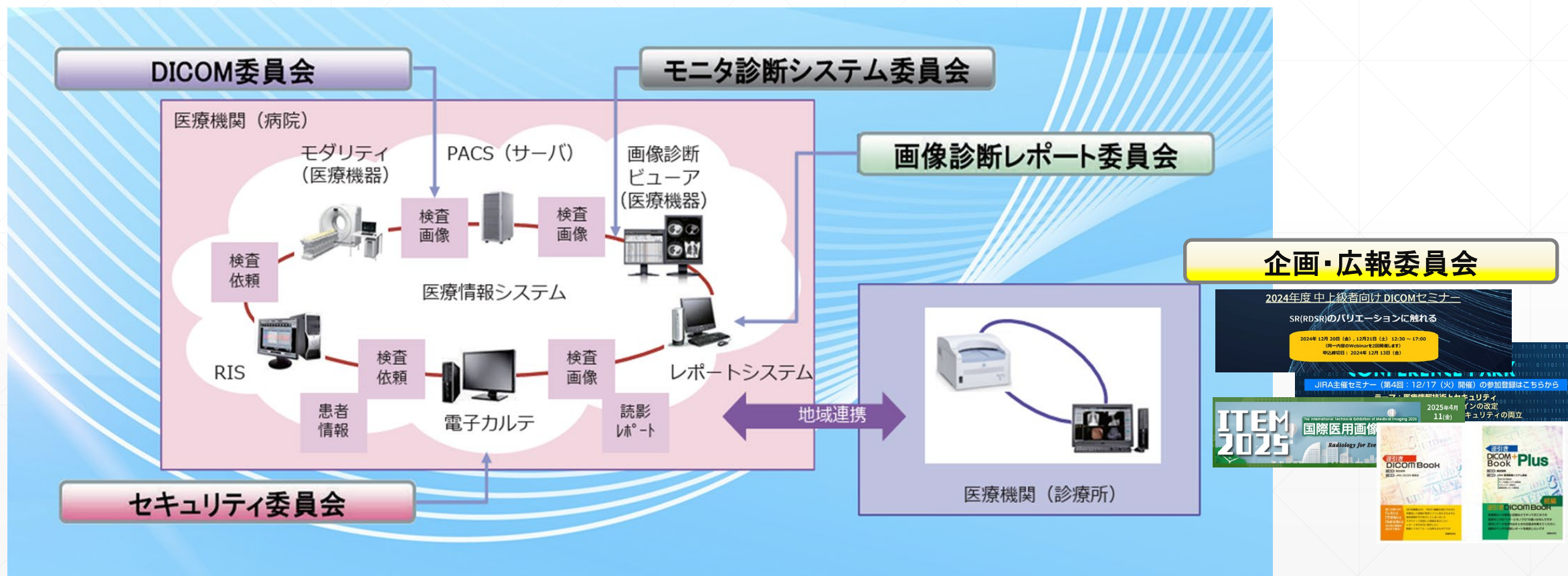
2026年 6月

部会長
湯澤史佳

医用画像システム部会の概要

■ 医療ICT推進における課題への取り組み

- ①標準化による相互運用性、安全性の確保 ⇒ 会員各社の製品開発(・販売)に寄与すること
- ②医療イノベーションの実現と画像医療システム産業拡大への貢献 ⇒ 中期(3年)計画
- ③革新的な医用画像システムの早期社会実装・有効活用への貢献 ⇒ 重要課題(2026年度)



医用画像システム部会の概要

委員会名	活動内容
本委員会	医用画像システムの相互運用性と安全性、品質確保に関する標準規格・ガイドラインの策定と普及活動、さらには問題解決のための提言を国内外の関連団体と協調して推進する。JIRA産業ビジョンの実現を指針とする中期計画、年度毎の重要課題を策定し、部会活動を支援する。
企画・広報委員会	部会活動計画の企画、成果の周知及び啓発 - 企画・広報担当として、ホームページ運営、報告会の開催 - ITEM等企画展示への協力、学会誌等での部会活動の紹介
セキュリティ委員会	セキュリティ要件の明確化、医療情報の安全な取扱い - 国内外の関連規格/技術動向の情報交換と討議 - ガイドラインの策定や国際標準化
DICOM委員会	医学・医療機器の進歩に合せたDICOM規格の展開 - DICOM規格の普及/画像情報関連規格の検討 - 専門家やユーザを交えた検討、DICOMセミナー活動
モニタ診断システム委員会	適切なモニタ画像診断の普及活動 - ガイドラインの作成や見直し、モニタ精度管理セミナー共催 - 普及活動、規格動向やモニタ品質管理の実態調査
画像診断レポート委員会	画像診断レポートの標準化、各ツールの開発 - 異なるシステム間でデータを交換する手順の標準化 - 普及促進のためのツール提供と広報活動



2025年度 活動報告

■2025年度は、「画像診断装置等における、さらなるイノベーションの促進」に取り組んだ

- 医療DXによる医療の質・安全性の向上に加え、**経済性と有効性への対応**を検討
- 画像診断レポートの標準化やデータ収集・利活用のための相互運用性と安全性の確保
- 医療機器を含むサイバーセキュリティ対策に必要な仕組みの整備、運用の支援

※2025年度医用画像システム部会成果報告会及び特別講演会リンク

⇒ <https://www.jira-net.or.jp/commission/system/info1-01.html#i10>

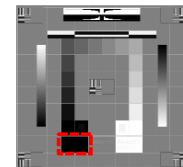
2025年度 活動報告

モニタ診断システム委員会

■新JESRA(JIS整合、JESRA TR-0049-2024)運用WGを発足。

⇒医療現場での実運用に課題があることが分かったため、
有識者(JRS/JSRT/JART)を交えたWGをJIRA内に立ち上げ、
スムーズな医療現場への導入に向けた協議を実施。

■「第11回 JART・JIRA共催ディスプレイ精度管理セミナー」を開催。



OIG
テストパターン

JESRA TR-0049 表 10 カテゴリーで判定基準が異なる全般的画質評価

試験項目	確認項目	カテゴリー別判定基準			
		I-A	I-B	II (診断用)	III (参照用)
指定文字の識別	背景:黒	QUALITY CONTROL	QUALITY CONTROL	QUALITY CONTROL	QUALITY CONTROL

判定基準:指定の文字が識別できる

・医療現場への導入には運用上の難しさがあるとのご意見
- 海外の規格や設置環境をそのまま日本に持ち込むのは難しい

↓
・JIRA内に検討WGを立ち上げ
- JRS/JSRT/JARTの先生方にも参加を呼びかけ



セキュリティ委員会

■MDS/SDS 書き方セミナー開催(主催:JAHIS、10月)。

■RSS Ver4.0(JESRA TR-0034*D-2024)+ISO改定の推進。

■医療機器/サイバーセキュリティ対策(医機連/WG等)へ参画。

■RSSのHELICS化推進(安全管理GLへ反映)、TC215 WG4参画、等

DICOM委員会

■CPack-131~135(約107件)をレビュー。LB、PC へ対応。

■JIRA発の提案(CP-2461)、Sup245の規格化を推進。

■DICOMセミナーを2回(2日間)開催。約150名参加。

■DSCでのJapanReportに対応。

画像診断レポート委員会

■CDA GL利用拡大を継続検討。

■既読管理に関する調査。

企画・広報委員会

■合同報告会(9月)を開催。成果報告会(3月)を開催。

■JIRA HP/パンフレットの活用推進、DATA BOOKへの加筆・修正、等。

2026年度 活動計画

重要課題：革新的な画像医療システムの早期社会実装・有効活用への貢献

※医療情報の利活用・診断装置の最適化・情報の安全性確保

への取り組みによる「**医療の質・安全性の向上**」に加え、
医療・介護DXにおけるICT・クラウド技術を活用した

- ①新システムへの移行費用の上昇抑制
- ②情報セキュリティ・サイバーセキュリティ対策の負担軽減
- ③サービスが提供される体制の構築

などの

- ・ **医療イノベーションの創出とその早期社会実装・有効活用**
- ・ **医療系ベンチャー企業等の支援に関する情報発信・提言**

を推進する。

※重要課題とのバランスを取りながら、

- ≫ モニタ精度管理、DICOM等、より高い専門性の要求される活動の継続、
- ≫ JIRAビジョン2030を見据えた、企画・広報活動

に取り組む。

2026年度 活動計画

安全管理GL 第7.0版対応	セキュリティ委員会	DICOM委員会	画像診断レポート委員会	モニタ診断システム委員会
	①MDS/SDS、JESRAの改定 ②RSS、JESRAの改定 ③医療機器のセキュリティ対策 厚生労働科学研究等との連携強化	①CPack/LB/PCへの対応 ②SWG活動(セミナー活動、他) ③JESRAの改定(TR-0044,-045) SWG-6日本開催	①CDA GLの利用拡大検討 ②レポートの2次利用模索 ③既読管理に関する調査 放射線レポートでの導入事例、標準化動向	①医療機器、新JESRA周知・啓発 ②施設要件化に関する協議継続 ③新JESRAの実運用WGの推進
標準化による、相互運用性と、安全性の確保				
教育・啓蒙活動	④MDS/SDS、RSSの講演	④DICOMセミナーの開催(年2回)	④既読管理セミナーの開催	④精度管理セミナーの開催
企画・広報活動 企画・広報委員会	⑤合同報告会(9月)			
	⑥2026年度 部会成果報告会(2027年3月)			
	⑦JIRA産業ビジョン2030を見据えた、部会活動の見直し(2027年度事業計画の策定)			
	⑧JIRA内の他部会・委員会, JIRA外団体との連携強化(見学会、外部開催、合同でのセミナー開催、等)			

ご清聴
ありがとう
ございました



一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association